

平成26年度学校評価実施報告書

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>&lt;教育課程&gt; 幅広い学習ニーズに対応する教育の展開</p>	<p>①工業高校としての特色を生かした教育課程を編成するとともに、実習や課題研究など『ものづくり』関連授業において選択の幅を広げるなど、生徒の学習ニーズに対応した教科指導を推進する。 ②各種資格試験の指導を朝や放課後の補習などにおいて推進し、取得を支援する。</p>	<p>・工業高校の特色を生かした教育課程の編成、また運用ができたか。 ・資格取得のための情報提供及び受験指導の実施状況。 ・生徒の活動状況や成果及びアンケート調査結果等の分析。</p>	<p>・3年次に全教科にわたる共通選択科目を設置した。 ・各種資格試験・検定試験の情報を随時提供したが、受検者数は横ばいだった。</p>	<p>・予備調査では選択希望の少ない科目もあり、進路を見据えた科目選択への意識付けに取り組む必要がある。 ・受検者及び合格者が増加するように、生徒への情報提供の方法や補習体制を工業4科で協力できるように改善する。</p>	<p>(保護者) ・資格取得の推進により、生徒の意欲が向上するとともに知識や技術の幅が広がった。  (学校評議員) ・課題研究や実習で行われた地域と連携したものづくりは、工業高校の特色が良く生かされた活動であり大変評価できる。</p>	<p>(学校評価) ・地域と連携した実践的なものづくりに、約半数の47%の生徒が自分も参加したいと回答するなど、工業高校の特色を生かした活動が推進できた。  (改善方策等) ・資格取得については、生徒や保護者の関心は高いが、継続的に学習をして合格にいたる生徒数が伸びない。指導体制や方法に工夫が必要である。</p>
<p>&lt;生徒指導・支援&gt; (1)ものづくりを通してのづくり教育の充実</p>	<p>①あいさつや遅刻指導、頭髪・服装などの『身だしなみ指導』、及び生徒の登下校時や昼休みなど、全職員による校内外巡視指導を、年間を通して継続的に実施する。 ②ものづくりの授業を通してあいさつや身だしなみ等の指導を行い、同時にものづくりの楽しさを実感させる。</p>	<p>・身だしなみ指導や校内外巡視指導の取組状況。 ・生徒の活動状況や成果及びアンケート調査結果等の分析。</p>	<p>・全職員の協力を得て、実施できた。特に頭髪の指導においては大きな成果を挙げた。 ・実習の朝礼や授業前の指導の結果、あいさつや身だしなみの意識を高めた。校内外巡視指導により、事故が未然に防げた。</p>	<p>・頭髪や服装等に対する教職員の意識を高めながら共通した指導を徹底する必要がある。 ・栢山駅や通学路の巡回指導を更に強化していきたい。</p>	<p>(保護者) ・校内でいつも生徒から気持ちの良い挨拶があり、取組みの効果ができていると感じる。  (学校評議員) ・近年高まってきている近隣住民からの評価が、良い形で生徒の行動に波及している。</p>	<p>(学校評価) ・工業科の実習において、安全教育や技術指導を通し、生徒の基本的な生活習慣が身に付いた。  (改善方策等) ・基本的な生活習慣だけでなく、企業が取り組んでいる5S(清掃、整頓、整理、整頓、清潔)を意識し、取り組む必要がある。</p>
<p>(2)生徒一人ひとりに応じた教育支援体制の確立</p>	<p>①生命の尊重、他者への思いやりなどの道徳性を養い、生徒一人ひとりのニーズに応じた教育相談体制を確立する。 ②教職員一丸となった生徒指導により、基本的な生活習慣の確立と調和のとれた人間の育成を図り、規範意識やモラル向上に努める。</p>	<p>・ケース会議の実施及び教育相談コーディネーター・スクールカウンセラーの活動状況。 ・職員の共通理解と日常的な生徒指導の実践状況。</p>	<p>・教育相談コーディネータを中心に、教育相談体制の整備に努めた結果、個に応じた支援をすることができつつある。 ・全職員による生徒指導が実践できた。</p>	<p>・全職員による支援体制の構築を目指し、教育支援の重要性を職員に周知する必要がある。 ・頭髪や服装など、具体的な事例を提示し、全職員による指導体制の整備を進める必要がある。</p>	<p>(保護者) ・職員から生徒への声かけを盛んに行うことにより、良好な関係が築け、気持ちが安定した優しい生徒が多い。  (学校評議員) ・以前と比べて落ち着いた生徒が増えている。</p>	<p>(学校評価) ・個々の生徒の特性を見極めながら、生徒指導を行うことができた。  (改善方策等) ・アスペルガーやLD等について教職員の理解が高まるよう、研修会を開催する等の工夫が必要である。</p>

<p>&lt;学習指導・授業改善&gt; 確かな学力の定着と学習習慣の確立及び学習意欲の向上</p>	<p>①「学びなおし」により基礎学力の定着をはかり、生徒一人ひとりの学習意欲を向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>わかる授業をめざし、授業改善に向けて組織的に取り組む。</li> <li>計画的な行事運営により、授業時間の確保に努める。</li> <li>計画的に啓発講習等を企画し、学習習慣を見直すことで学習意欲の向上を図る。</li> </ul> <p>②興味・関心の持てる教材やエピソードを準備し、必要に応じて復習を取り入れながら基礎学力の定着を図る。また、プリント等を用いて作業をする力・考える力を育成する授業展開をめざす。</p> <p>③習熟度別クラス編成の利点を活用し、学力に応じた授業展開を行うことにより、基礎学力の定着と応用力の向上を図る。</p> <p>④自ら楽しく体を動かすことができるように少人数授業・選択授業を取り入れる。意欲関心を高め、ゲームの運営ができるようにする。また、自らの健康や環境問題に積極的に取り組む姿勢を育てる。</p> <p>⑤家庭や家族の意義について、主体的に考え学ぶことができるよう指導する。また、生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テスト結果分析による基礎学力の定着状況。生徒による授業評価の実施状況と具体的な授業改善策状況。効率的な日程計画により授業時間が確保できたか。</li> <li>授業への参加状況やノート・プリント作業などの内容、定期試験による習得状況。</li> <li>数学的な見方や考え方や数理的処理能力の習得状況。</li> <li>出席状況と学習態度の結果。技能の上達や公正なゲームの運営ができたか。また、健康におけるさまざまな問題を解決し、関心を持って取り組むことができたか。</li> <li>自らの生活を省みることであったか。またそこから課題を見つけ主体的に改善することができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学びなおし」の授業(1学年：数学、2学年：国語、3学年：SPI)を1学期間実施したことで、生徒の基礎学力が向上した。</li> <li>月曜日に行事を行わないことや、午前授業時の時間割設定により、各科目の授業時間確保に努めた。</li> <li>夏季休業中に、学習の定着度が低い生徒に対して、啓発講習の日程を組み、学力の定着に努めた。</li> <li>体育では少人数制は、行われなかった。自分の興味ある種目を選ぶ選択制の授業は意欲が高まり積極的活動が見られ効果があった。保健において健康や環境の身近な実例をあげ授業に結びつけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学びなおし」は計画通り実施したが、日程、内容を検討した結果、次年度は、週1回、通年で実施する予定となった。</li> <li>「生徒による授業評価」は、昨年度、アンケート用紙に実施目的を明示し、自由記述欄を変更したが、他に改善点があるか引き続き検討する。</li> <li>授業時間確保については、年間行事予定を見直す等も含め検討していく。</li> <li>啓発講習について、引き続きどのような改善方法があるか検討する。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒個々の理解の進度に応じて、きめ細かな指導を親身になって進めてくれてありがたい。</li> <li>実習の作業において、遅れが生じた生徒に補習の時間を設けて最後まで指導するよう努めている。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業後、社会に出てからも新たな知識は常に必要で学習をする機会が多い。「学びなおし」活動は、学習に対し自ら前向きに取り組む習慣を身に付けさせる点で評価できる。</li> <li>基礎学力が身に付いていない学生が大学でも増えており指導に苦慮している。「学びなおし」活動を学校全体の取組みとして継続させる努力をしてほしい。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びなおし」を実施することで、基礎学力が定着しつつある。また、生徒の自己達成感も高まり、学習意欲の向上につながった。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科で定期テスト作成に向けた取組を充実させる。具体的には教科全体で授業の進度や観点別評価を踏まえた検討を進める。</li> <li>授業改善については、近隣の小中学校への授業視察や校内での授業見学を継続するとともに、総合教育センターの指導主事の派遣を依頼し、「授業づくり」について学ぶ機会を設定する等の検討をしていきたい。</li> </ul>
--	--	---	--	--	--	---

<p>&lt;キャリア教育&gt; 豊かな人間性と社会性の育成</p>	<p>①部活動加入率を現状より上げる。その延長線上でさまざまな大会や発表会での成果を積み上げ、地道に努力する精神を養う。生徒会役員の自主的活動を促す。</p> <p>②インターンシップなどの機会を活用してキャリア教育の実践を進め、主体的な進路選択に向けた指導の推進を図る。</p> <p>③工業各科・各学年団と連携して、生徒の進路希望に即したきめ細かいガイダンス、説明会を各学年実施する。</p> <p>④実習の中でキャリア教育に関する指導を行う。また、各学年で工場見学を実施し、就業意識を高める指導を行う</p>	<p>・部活動加入率。生徒会の活動状況。</p> <p>・インターンシップへの生徒の参加状況。生徒の進路決定状況。</p> <p>・ガイダンス、説明会の実施状況。</p> <p>・キャリア教育の実施状況。工場見学の実施状況と生徒向けアンケート。</p>	<p>・工業4科それぞれが、実習の中でキャリア教育を行った。工業4科ごとと学年ごとの工場見学を行い、生徒の職業意識が高まった。</p> <p>・本校独自の企画と県西地区の企画とあわせて25名の参加者があった。</p> <p>・各学年の状況に応じた進路ガイダンス、進路懇談会を実施した。</p>	<p>・インターンシップの意義等を生徒に周知し意識の涵養を図り、積極的に参加しようとする意欲を生む態勢を構築する。</p> <p>・キャリア教育実践プログラムを見直し、それぞれの段階に応じたきめ細やかな指導ができるよう改善する。</p>	<p>(保護者)</p> <p>・部活動や生徒会活動では、生徒が主体となった自主的な活動が良くできている。</p> <p>・工場見学やインターンシップなどの活動は、生徒の視野が広がり進路選択の際にも参考になる。社会で仕事をすることの楽しさや苦勞を学ぶことができる良い取組みだ。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>・落ち着いた生徒が多く、挨拶などもきちんとできており、日頃の指導が行き届いている印象を受ける。</p> <p>・インターンシップについては、地元企業との連携についての検討を進めてほしい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>・工業4科の特徴を生かしたキャリア教育を展開することができた。また、発達段階に応じた行事を企画し、生徒の進路活動への意識を高めることができた。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>・インターンシップへの参加者が他の工業高校と比較しても少ない状況にある。生徒向けの説明会や授業で積極的に働きかけ、参加者の増加を図る。</p>
<p>&lt;地域等連携&gt; 開かれた学校づくりと広報活動の充実</p>	<p>①生徒会や部活動の生徒を中心に、地域の自治体と連携をとりながら、いろいろな活動を充実させる。</p> <p>②工業高校である本校の特性を活かした地域貢献および教育活動のPRを、親子ものづくり教室や夏休み体験学習会を通じて推進する。</p> <p>③オープンスクールや各種説明会などをHPなどでアピールし、説明会の参加者を増やし、受検者数を増やす。</p>	<p>・地域貢献活動の実施状況。</p> <p>・親子ものづくり教室、および体験学習会での参加者へのアンケート結果の分析。</p> <p>・HPのアクセス件数。オープンスクールや各種説明会の参加者数。</p>	<p>・生徒会の生徒を中心に小田原市総合防災訓練、小田原市の将来を考える会のディスカッションなどの活動に積極的に参加した。</p> <p>・電気研究部が小学校での工作教室などのイベントに協力した。</p> <p>・プラスバンド部が地域の祭り等で発表をし、好評を得た。</p> <p>・小田原市の伝統的建造物の修復作業に、建設科生徒が協力した。また地域と連携したものづくり活動に、機械科やデザイン科生徒が取り組んだ。</p> <p>・オープンスクールや説明会に加え、県西地区の中学校への訪問説明を実施した。</p>	<p>・ボランティア部・電気研究部・プラスバンド部に部員不足で来年の活動も不安である。</p> <p>・地域と連携したものづくり活動は、生徒が学んだ技術技能を地域に貢献できる実際の作品として形にできる点で、生徒の充実度も高く教育的効果が高い。今後も推進したい。</p> <p>・PR活動と志願倍率の関係を分析するのは難しいが、入学者選抜の倍率は、昨年度と比べて機械、建設が上昇、電気、デザインが低下した。</p> <p>・工業高校の特色を十分に理解せず学ぶ意欲が低い入学者が多い。次年度は、進路指導をする中学校職員への説明会を検討するなど、新たなPR活動検討を進める。</p>	<p>(保護者)</p> <p>・小田原市の清掃車のデザインイベントや、地域の自治会のゴミ集積所ケージなど、実際に役立つものの製作は生徒もやりがいを感じているようだし、社会貢献に前向きに取り組む姿勢を育ててくれている。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>・ゴミ集積所のケージや通学路の旗入れの製作・設置といった工業高校の特色を生かした取組みから、防災や祭りなどの活動まで、地域に大いに貢献してくれており感謝している。</p> <p>・城北工業の生徒による良い取り組みを、地元自治会など地域にもっとアピールしてほしい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>・生徒会部活動の生徒が、地域のイベントへの参加や修得した技術・技能を生かした「ものづくり」等で大いに地域に貢献した。また、生徒は自己有用感や自己達成感を得ることができた。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>・ホームページの更新を頻繁に行うことや内容を充実させることで、中学生や保護者への情報発信を強化する。</p> <p>・学校説明会やオープンスクールの内容を工夫し、有益な情報を発信して参加者の本校に対する理解度を向上させ、工業高校で前向きに学ぶ意欲のある志願者の増加をめざす。</p>

<p>&lt;学校運営・学校管理&gt; (1) 安心安全な環境づくり</p>	<p>①防災体制を確立・維持する。 安全指導と快適な教育環境を整備する。事故・不祥事の未然防止や早期発見、早期解決に努める。 ②安全安心な実習授業の実施に向けた、工業関連施設設備の整備</p>	<p>・防災訓練(地域・校内)の実施状況。 ・校内の教育環境の整備と早期の対策状況、集合時間を守り、安全で有意義な行事にできたか。 ・重大事故・不祥事等の発生件数。</p>	<p>・各種訓練はスムーズに実施された。訓練が形骸化しないよう配慮した。防災計画改訂にあたって組織の機動性を見直し、また、地震以外の災害に対しても対応を見直した。 ・少ない予算の中、安全対策が必要な機器の修理を行った。 ・文化祭にあたっては、消火器を全会場に配置した。</p>	<p>・引き続き高い防災意識を維持し、不測の事態に対応できる体制作りを推進する。 ・安全に実習が出来るように、引き続き機器の修理や更新をしていく。</p>	<p>(保護者) ・定時制での夜間に消灯しての避難訓練は、実際にやってみて分かる事も多いし良い訓練になったと思う。また酒匂川が近いので浸水や津波の訓練も継続して行ってほしい。 ・工業実習などの作業では事故が起きないように良く指導できている。  (学校評議員) ・地域の防災に係わる協力を今後もお願いしたい。</p>	<p>(学校評価) ・工業実習に使用する施設設備のうち老朽化して修繕ができないものについて廃棄を一斉に行い、作業環境の改善を進めた。  (改善方策等) ・今後も老朽化した施設設備について、生徒の安全確保と作業環境の改善を最優先に整備を進める。</p>
<p>(2) 特別活動の充実</p>	<p>①キャリア教育・地域貢献・クラスの親睦・道徳教育・学びなおし等をバランスよく組み入れる。 ②文化祭、体育祭、遠足などの行事に当たっては、安全面に十分な配慮を払う。また、こうした行事を通して、生徒間の交流を深め、社会性を育み、楽しく、安心できる学校生活を目指す。 ③集団行動や共同生活の体験をおして高校生として望ましい態度や習慣を身につける。</p>	<p>・年間を通して計画的にLHRを取り入れる事ができたか。 ・行事の目的を理解しそれぞれの役割を果たし、交流を深めることができたか。 ・充実した計画を立て安全面や社会性を養うことができたか。</p>	<p>・クラス、学年、学校単位でLHRにおける効果的な活動を検討、実施した。 ・文化祭は盛況に行われたが、体育祭は雨天のため中止となった。</p>	<p>・LHRの時間における学校行事については、年間行事計画に組み入れ対応した。 ・クラスの催し物・科展の内容をさらに充実させていきたい。 ・体育祭の雨天時の対策に力を入れたい。</p>	<p>(保護者) ・文化祭などの行事に生徒達が互いにコミュニケーションをとりながら良く取り組んでいる。このような活動は社会性の育成に効果があると考えられる。  (学校評議員) ・行事において生徒が生き生きと活動している。体育祭が中止となったのは残念。</p>	<p>(学校評価) ・キャリア教育については、4つの工業科の特色にあわせた内容と、生徒の発達段階に合わせた年次進行に対応する内容をバランスよく実施した。  (改善方策等) ・順延日の調整がつかず雨天中止となった体育祭については、次年度スケジュールの調整を行い改善に向けた検討を行う。</p>